

## 英語科学習指導案

三次市立八次中学校

指導者 少人数 A 角濱 慶司

少人数 B 瀬戸川 徹

- 1 日 時：平成 24 年 10 月 1 日（月） 第 5 校時
- 2 学 年：3 年 1 組 37 名（男子 15 名 女子 22 名）  
少人数 A 20 名（男子 9 名 女子 11 名）  
少人数 B 17 名（男子 6 名 女子 11 名）
- 3 場 所：3 年 1 組教室（2F 少人数 A） のびのび教室（2F 少人数 B）
- 4 単元名：Program 6 Let's Talk about Things Japanese

### 5 単元について

#### （1）単元観

本単元のテーマは日本の伝統文化であり、最古のマンガとも呼ばれる「鳥獣戯画」、現在でも人気のある遊びとしての「けん玉」、さらには「手ぬぐい」や「風呂敷」といった昔からの日用品等が話題となっている。言語の働きとしては、それらの物の起源や用途、特徴等を英語で説明することが中心である。「説明」は、前単元から始まり、本単元を含め五つの単元に渡って言語の働きの中心となっている。本単元で扱われている伝統文化には、生徒の日常生活であまり馴染みのないものも多く、それらについて英語でわかりやすく説明するためには、適切な情報収集と筋道を立てた思考が必要である。また、本単元で新出の文構造は、現在分詞及び過去分詞による後置修飾句を持つ文である。この構造の文を使うことで、生徒は、物や人について詳しく述べたり尋ねたりできるようになると期待できる。

#### （2）生徒観

本学級の生徒の多くは、落ち着いた態度で学習に臨むことができる。一方で授業妨害や学習放棄等で授業に位置付くことが難しい生徒も少なからずおり、学習規律を確立することが大きな課題である。7月に実施した教科の学習についてのアンケート結果によると「英語の学習が他教科を含めた場面での言語活動やコミュニケーションに役立つ」、「英語の授業はよくわかる」という項目に否定的な回答をした生徒の割合は、約 30%であった。また、1学期期末テストの結果では、合計得点が 30 点を下回った生徒の割合が約 30%であった。これらの結果から、基礎的・基本的な事項が定着していないために英語の学習に前向きになり得ていない生徒が 30%程度いると見られる。しかし、基本表現の定着を図るための口頭ドリルや、短い会話文の暗唱等、ペアで取り組む活動にはほとんどの生徒が活発に参加することができる。1学期期末テストでの領域別の平均正答率は、理解の能力が 58.7%、知識・理解が 58.0%あったのに対し、表現の能力は 52.0%と、全体として表現の能力に課題が見られた。特に、与えられた条件で 5 文程度の文章を書く問題では、条件を満たさない解答と無解答の生徒を合わせると、全体の 40%の割合であった。これらことから、自分の考えなどを英語で述べることへの意欲や、つながりや一貫性のある文章を書くための知識・技能に課題のある生徒が多いことがわかる。

#### （3）指導観

本単元で主につけたい力を「身近な物について説明するためのつながりのある文章を書く」こととする。そこで、指導にあたっては、特に次の 3 点に力を入れたい。

一つ目は、英語の文章を書くことを苦手とする生徒の抵抗感を軽減することである。具体的な工夫は、文章を視写させることと、1 文レベルで書く活動に取り組みさせること

の二つである。文章の視写は授業冒頭の帯活動で、1文レベルのライティングは、文章を書く活動への導入の段階で行う。誤りが生じる恐れが無い状態で、意味がよくわかった文を書くことで、文章を書くことへの自信を少しずつもたせたい。また、本単元の主な新出言語事項である後置修飾句を含む文については、日本語の構造と大きくことなるため、既習事項を振り返りながら語順の違いを理解させることに留意したい。

二つ目は、ペアや小グループを使って書く活動に取り組ませることである。この活動は、授業の目標を達成するための手段として取り組む。与えられた一つのテーマについて書くために協力することを通して、知識やアイディアの共有が促され、結果として書く力が高まることが期待できる。

三つ目は、英語で文章を書くことへの意欲を持って活動をさせることである。そのために、生徒にとって予備知識のあるテーマを与えたり、完成した文書を使って発表する場を設けたりする工夫をしたい。

## 6 単元の目標

読み手にわかりやすい文章となるよう、内容を工夫して文章を書く。

聞き手や読み手に具体的な情報が伝わるよう、文章の意味をとらえて音読したり、与えられたテーマについて一貫性のある文章を書いたりする。

日本の伝統文化にいて話される英語や書かれた文章から、必要な情報を聞き取ったり読み取ったりする。

現在分詞及び過去分詞による後置修飾句を含む文の構造を理解する。

## 7 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
読み手にわかりやすい文章となるよう、内容を工夫して文章を書いている。	聞き手に具体的な情報が伝わるよう、文章の意味をとらえて音読することができる。 読み手に具体的な情報が伝わるよう、与えられたテーマについて一貫性のある文章を書くことができる。	日本の伝統文化について話される英語から、必要な情報を聞き取ることができる。 日本の伝統文化について書かれた文章から、必要な情報を読み取ることができる。	現在分詞による後置修飾句を含む文構造を理解している。 過去分詞による後置修飾句を含む文構造を理解している。

## 8 指導と評価の計画（全8時間 本時5/8）

次	学習内容 (時数)	評価計画					評価方法
		関	表	理	知	評価規準	
1	・後置修飾句を作る現在分詞の用法を知る。 (1)					現在分詞による後置修飾句を含む文の構造を理解している。 〔エ〕	ワークシート
	・後置修飾句を作る過去分詞の用法を知る。 (1)					過去分詞による後置修飾句を含む文の構造を理解している。 〔エ〕	ワークシート

2	<b>Section 1</b> ・日本のマンガの起源について話される英語を聞く。(1)				「鳥獣戯画」について話される英語を聞き、その起源や現代のマンガとの関係を聞き取ることができる。〔ウ〕 聞き取った情報を強調するなど文章の意味をとらえて本文を音読できる。〔イ〕	ノート  音読チェック
3	<b>Section 2</b> ・日本の伝統的な遊びについて書かれた文章を読む。(1)				「ケン玉」について書かれた文章から、その特徴について述べている情報を読み取ることができる。〔ウ〕	ワークシート
4	<b>Section 2</b> ・日本の伝統文化について説明する文章を書く。(本時 1)				読み手の理解に必要な情報を備えた一貫性のある文章を書くことができる。〔イ〕 情報の順序や文のつながりを工夫した文章を書いている。〔ア〕	ワークシート  活動の観察
5	<b>Section 3</b> ・絵に描かれている様子を説明する文章を書く。(1)				日本の夏祭りの様子を話題とする会話文を、適切な台詞の順序で書くことができる。〔イ〕 ペアで協力し、文のつながりを工夫した会話文を書いている。〔ア〕	ワークシート  活動の観察
6	<b>Challenge 2</b> ・日本の伝統文化について書かれた文章を読み、自分の知識や考えについて書く。(1)				茶道の作法についてかかれた文章から、茶道の説明に必要な情報を読み取ることができる。〔ウ〕 茶道について簡潔に説明する文章を書くことができる。〔イ〕	ワークシート  ノート
7	単元テスト				日本の伝統文化について説明する5程度の文章を適切に書くことができる。〔イ〕 後置修飾句を作る現在分詞及び過去分詞の用法を理解している。〔エ〕	後日テスト  後日テスト

## 9 本時の展開

### (1) 本時の目標

ペアで協力し、日本の伝統文化について説明する文章を適切に書く。

### (2) 本時の評価規準

日本の伝統的な日用品等について、読み手の理解に必要な情報を備えた一貫性のある文章を書くことができる。

ペアで協力し、情報の順序や文のつながりを工夫した文章を書いている。

### (3) 準備物

ワークシート、CDプレーヤー、音読CD、板書カード、ヒントカード、タイマー  
 パソコン、ビデオカメラ、スピーカー(少人数A)

プロジェクター・スクリーン・ビデオカメラ、スピーカー(少人数B)

(4) 学習の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項 ( ) 「配慮を要する」生徒(班)への手だて( )	評 価 規 準 ( 評 価 方 法 )
<p>1 英語で挨拶をする。</p> <p>2 「分詞インプット」で重要表現の口頭練習をする。</p> <p>3 「長文読み取りドリル」に取り組む。</p> <p>4 本時のめあてを確認する。</p>	<p>直前の生徒と同じ質問をし、答えやすくする。</p> <p>習得の優先順位を示しておき、順位の高いもののみ練習するよう指示する。</p> <p>問題を解いた後に、英文を視写させ、単語レベル及び文レベルでのつながりについての意識を喚起する。 重要な文のみを指定し、時間内に視写できるようにする。</p>	<p>教</p> <p>分詞の用法について、後置修飾以外の学び直しをする。</p>
<p>ペアで協力し、わかりやすい説明文を書くことができる。</p>		
<p>5 ビデオ(ALTのスピーチ)の英語を聞き、課題をつかむ。</p>	<p>聞き取った情報をペアで確認させ、正確な聞き取りを促す。 話の概要を書いたシートを黒板に示し、その一部を見せることで、理解のヒントとする。</p>	
<p>【話される英語の一部 「風呂敷」を示しながら】</p> <p>I had my birthday last week. My friends gave me a lot of nice birthday presents. They are all very nice. But there are some things that I'm not sure about how to use. This cloth is one of them. This is wonderful in color and has a nice painting on it. Is it something to put on the wall like a picture? I'm not sure. Also this cloth is very fine and soft. Is it something to wipe things? Can I use it as a body towel? But this is not big enough. Can you tell me how I should use it? And what do you call it in Japanese?</p>		
<p>6 聞き取った情報をワークシートにメモする。</p> <p>7 説明文の条件を知る。 (条件) 最初に物の名前を示す。 用途を必ず述べる その物にまつわる自分の経験を述べる。 詳しく述べるために5文以上10文以内の説明文とする。 「使ってみたい」と思わせるような説明文とする。</p>	<p>英語でメモを取らせることで、説明文を書く際のヒントとなるようにする。 机間指導により生徒のメモをチェックし、聞き取れていない情報があれば、口頭で付け足す。 メモを作成する段階からペアで取り組ませ、パートナーのメモを書き写すことで、確実に内容をつかませる。</p> <p>説明文の最初と最後の文、本論にあたる説明の部分からなる構成をワークシートに示し、考えやすくする。 風呂敷の上手な使い方を示す写真を黒板に掲示し、ヒントとする。</p>	<p>考</p> <p>わかりやすい説明文の構成について各自にアイデアを持たせる。</p>

<p>8 説明文の構成を考え,自分の案を書く。【個人】</p> <p>9 ペアで協力し,説明文を完成させる。【ペア】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>協同学習の手法・活用方法</b>          ペアで協力して説明文を書くことにより,学び合いの場を設定し,共感的人間関係を育成するとともに考えを深める。</p> </div>	<p>説明に有効な文例をヒントカードに書いておき,必要に応じて示すことで,個人思考を促す。</p> <p>ペアで一つの内容の文章を書くこととし,二人の協力を促す。「質問」「辞書」「清書」「発表」等,役割分担をして取り組むよう促す。</p> <p>理解に支障の無い英語の誤りは,この時間では指摘せず,文章の完成を優先する。</p> <p>文章を書くことに慣れるため,「清書」の役割を取るよう促す。</p>	<p>情報の順序や文のつながりを工夫した文章を書いている。          【ア】          (活動の観察)</p> <p>読み手の理解に必要な情報を備えた一貫性のある文章を書くことができる。          【イ】          (ワークシート)</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【作成が予想される生徒の説明文 概ね満足できる内容】</p> <p>This is a "Furoshiki". It is a tool used in Japan. We use it to wrap things. We have seen it in Undokai. It is used to wrap big lunch boxes. It is very easy and useful. Why don't you use it?</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p>表</p> <p>自分の考えなどを読み手が理解できるよう文章の内容を工夫させる。</p> </div>
<p>10 2~3のペアが作成した説明文を音読で発表する。【全体】</p> <p>11 学習を振り返る。</p> <p>12 次時の学習内容と家庭学習の課題を確認する。</p>	<p>「文の数」,「与えられた情報の活用」,「文のつながり」の観点で優れた作品例を選び,発表させる。</p> <p>ワークシートの自己評価を記入させる。</p> <p>学習を深めるために,全てのペアが作った説明文を,後日掲示することを伝える。</p> <p>教科書の次ページの題材を使い,伝統文化について説明する文をノートに書いてくるよう伝える。</p>	

## 10 板書計画

<b>本時の目標</b>	Monday, October 1
ペアで協力し,わかりやすい説明文を書くことができる。	
<p><b>What's the problem with Bradley?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Many birthday presents from his friends</li> <li>- A strange cloth                  → fine and big</li> <li>- Like a ( picture ) ?</li> <li>- Like a ( towel ) ?</li> <li>- Wants to know how to use                “( )”</li> </ul>	<p style="text-align: center;">&lt; Watch this! &gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Karuta is a kind of game played with picture cards and phrase cards.</p> </div> <p style="text-align: center;"><b>What to Write</b></p> <p>最初に物の名前          どのように使うのかを示す          使ったことや見たことは?          5文以上10文以内で詳しく          Bradley先生が「使ってみ          たい!」と思える内容で</p> <div style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px; margin-top: 20px;"> <p>&lt;課題&gt;          p.65          2, 3の英文(8文)を          ノートに書く。</p> </div>